

●しゃらくかい  
写楽回会

平成30年9月30日 033

投稿/投票宛先 ; kinuko\_thompson@hotmail.com

© 2018 Sharakukai

長月兼題「月」 出題 : iSAMU

**写真俳句**



月齢を超えたる孫や九月尽

**1 月齢を超えたる孫や九月尽**

下の孫が一歳になりました。「もう」とも「やっと」とも。



本心を見透かされそな  
秋の月

**2 本心を見透かされそな秋の月**

秋の月は正に静謐ですね。



お酒よし団子供えて  
月を待つ

**3 お酒よし団子供えて月を待つ**

月見団子もよし、コップ片手に月の出るのが待ちどろしい。



俗世を照らす名月

凜として

#### 4 俗世を照らす名月凜として

名月を眺めていると些細なことで悩むなど、  
どうでも良いと思う…。



かぐや姫いづこに隠し秋の月

#### 5 かぐや姫いづこに隠し秋の月

最近はやさしいカメラの性能が良くなり、月も  
クレーターまで映るようになりました。  
これは8月の写真です。



仲麻呂も仰ぎし同じ月出ずる

#### 6 仲麻呂も仰ぎし同じ月出ずる

奈良三笠山の近くの興福寺から。千何百年も昔の人も  
同じ月を見ていた、と思うと感慨深いものがあります。



### 7 まだ四時半青空に出づ月白し



### 8 ソゾタウン皆のおかげで月へ旅

### 俳句



今年1月の月食時の写真です（撮影：iSAMU）。

## 1 灯り消し部屋に月影招き入れ

最近はお月見の風習は稀になってしまいました。

## 2 熱帯夜月影さえも疎ましく

今年の夏は本当に寝苦しい夜が多かったです。

## 3 嵐去り無月の街にサイレン音

台風21号の後、外に出てみたら遠くサイレンの音が聞こえました。

## 4 夜勤終え顔色白く残る月

昼の月に「お疲れさん」と声をかける。

## 5 街の月ガラスに映り影うすい

## 6 孫の描く月見だんごの数かぞえ

## 7 満月や遠吠えまねる犬愛（かな）し

こんな明るい月の夜はもっと飼い主と戯れたいか。

### 短歌

ほんのりと  
白から赤に頬染めて  
心地良さげに  
酔う酔芙蓉

朝は白、昼はピンク、夕には赤にと  
色変える一日花のスイフヨウ（酔芙蓉）。



### 川柳

総裁選論戦回避又外遊 久芽

権力の長きの弊害あちこちに 昼寝覚

アメフト、ボクシング、レスリング、体操もまた。政権もか。

意味不明任侠かぶれ元会長 準坊

裏社会と繋がっていたらアウトでしょ！

リスペクト人間力のオバタさん 準坊

久々のグッドニュース、ボランティアおじいさん天晴れ！

カン口飴用意しとけと七十八 池福楼

誰もが嫌悪する某ボクシング会長・78歳

あめ玉でおさな子救う七十八 池福楼

誰もが称賛するスーパーボランティア・78歳

名月を撮ってくれろよiPhone 北切雀

小林一茶「名月をとってくれろと泣く子かな」を私的に詠むとこれ。スマホで月を撮るのは辛い。



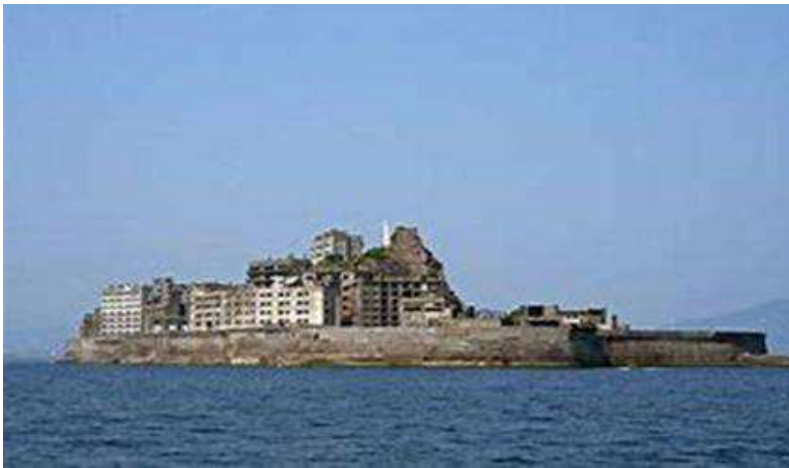
iSAMU

猪独活（ししうど）と長猿尾伽（ながさるおがせ）という地衣です。（共に長野・入笠山で8月に撮影）



### 準坊

台風の間を縫って軍艦島に上陸して来ました（長崎県・端島）。人の生活が無いためにすっかり荒廃してこの遺産を維持するのは大変な事だと痛感。



## 30年8月「虫」（出題者：北切雀）の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、\* は読者コメントです。

- \* 写楽という言葉どおり写真たっぷりの句誌になってきましたね。
- \* 力作ぞろいで甲乙がつけがたいです。
- \* 最近は益々選択が難しい。皆さん本当にお上手です。夏井先生に一度査定をお願いしてみたいほど。
- \* 今月は、虫という観点での句ということで、ちょっと異色。とっても勉強になりました。色々ググりながら読ませてもらいました。特に写真俳句は、2つに絞るのが大変で、全部選びたい気分でした。「虫」を題にしての俳句は、本当に日本人の感性と日本語でないと思理だろうなあと思いました。皆さん、ありがとうございました。

いつも読んで下さった上に投票、寸評も頂き作者一同心から感謝、ありがとうございます（編集）。

一席



落陽に蜥蜴動かず我也又 準坊 (8票)

<< 本当にこの蜥蜴は長い時間固まっていた為に良く観察できました。>>

- \* 写真がインパクトがあります。蜥蜴はじーとなにを思っているのでしょうか。
- \* 蜥蜴って寒い時期には陽に当たってじっとしていますが、この時期にゆっくりくれたとはラッキー。うちの庭の蜥蜴はすぐどこかへ行ってしまふのでさみしいです。
- \* 蜥蜴と我と、どちらが先に動くか根比べですね。
- \* じっと見つめる作者の目を感じます。
- \* とかげの足が妙にリアルで面白い。夏の西日の暑さと気だるい雰囲気感を良く表しています。

\* 我也又 が良いですね。 蜥蜴のじっとしている姿、作者もじっと眺めて観察？ それとも？

佳作



しょうりょうばった

帰り来て精霊飛蝗飛び立たず iSAMU (7票)

<< お盆の頃現れる精霊飛蝗は彼岸からの使者のようにも思えます。沢山の知り合いを送る齢となりましたが、なかなか飛び立って帰ろうとしません。>>

- \* 写真がきれいですし、句も風情があり、しみじみします。
- \* お盆の時期、こんな経験よくありますね。虫や蝶などに姿を変えて帰ってくるのでしょうか。
- \* 白いあじさいと緑の精霊飛蝗の色の対比がとてもきれいです。あの世からの使者だと思うと、精霊飛蝗を見る目が変わりますね。
- \* バッタを彼岸からの精霊とみた作者の感性、素晴らしい。
- \* 双方の思いが感じられる句だと思いました。



逆縁の友の明るさ 蟬時雨 昼寝覚 (5票)

<< お子さんをなくされた友を訪ねたとき、普段と変わらぬ明るさでしたが、お子さんの話は全く出ず、かえって友の悲しみを感しました。>>

- \* 親が子の法事をする事は辛い一言ですね。
- \* 最後の「蟬時雨」がものすごく効いていると思いました。口には出さぬ悲しみが蝉の声で際立って感じられるようです。
- \* お友達の明るさが、蝉の声に重なってより悲しみを深く感じとれる。秀句ですね。作者もお友達の心に寄り添っているのが伝わります。

\* 逆縁という言葉に惹きつけられました。蟬時雨の季語も句にあっていてとてもいいと思いました。  
\* これは、写真とのマッチングがイマイチですが、句の内容がとても深く、お友達の辛さがこちらにまで伝わってくる感じでした。



立ち去らぬ障子の影 絵晩夏光 池福楼 (5票)

<< かまきりも過ぎ行く夏を惜んでいるのか・・・>>

- \* かまきりのシルエットで行く夏を感じます。
- \* 網戸などに張り付いた虫はなかなか逃げないですね。まだまだ未練があるのでしょ。
- \* 写真、季語がぴったり。



## すける羽あみ戸にへばる若きセミ 千泉 (5 票)

<< 一生懸命な感じが若々しかった。 >>

- \* 網戸の向こうは山並み。短いながらい環境で生涯を終える蝉。
- \* 若く感じられたセミがへばって見えたのは、今年の夏が酷暑の証拠でしたね。
- \* 影になって透けてきれいに見える羽、何となくぽってりした形がかわいらしいです。
- \* 偶然なんだろうがなんともおもしろくて、いい写真が撮れましたね！

## 峰近し (順不同)



## 黄金虫まばゆさ増すや水の色 久芽

<< 黄金虫が水分補給に来たのでしょうか。周りの水の色が輝きが増しました。 >>

- \* 清涼感溢れる。水の質感が良く出た写真。
- \* 「コガネムシは金もちだ」の童謡を連想する。周りの水が水飴のように思えてきます。



## 黄金色夏の夜とぶかがね虫 梵木

\* 単純明快な句ながら、テンポの良さと個性的な味わいですね。

まか

## こほろぎは草を跨いで罷り出で 北切雀

<< 刀の鏝です。 >>

- \* 日本の伝統工芸品の素晴らしさに感心する。作者も生きているようなこほろぎに魅入られていますね。
- \* 句も素晴らしいですが、鏝も素晴らしいですね。この鏝を作った時の芸術性や文化性の高さを再確認しました。目の付け方の感性も素晴らしい。
- \* すごい名品ですね。この鏝におさまったのはどんな刀だったのでしょうか。どんな侍が持っていたのでしょうか。

## 俳句 投票数：17

### 一席

## うすき殻うつくしき家かたつぶり 千泉 (9 票)

<< 小さい透き通ったカタツムリがきれいでした。携帯忘れ写真無し。 >>

- \* 平仮名の使い方が上手いですね。「うすき」「うつくしき」「かたつぶり」が柔らかい印象で、繊細なカタツムリの姿を思い起こさせます。
- \* 私は最近かたつむりを見てないです。こんなきれいな個体に会えたら嬉しいな～。
- \* 小さな虫にも自然界の美を感じる作者の感覚が素晴らしい。
- \* 透き通ったカタツムリの殻の感じがきれいに表現されていると思います。
- \* かたつむりのうすい殻を、うつくしき家と表現されたところがいいですね。
- \* かたつむりの美しさがよく出ています。

**往く雲と蜻蛉弔う日の終わり** 北切雀（7 票）

<< 見つけた大蜻蛉はほどなく息絶えました。>>

- \* 「雲も高く、秋の景色が見える句ですね。
- \* 小さな生き物の生命を憂う作者の優しさが伝わる。
- \* 自然の摂理 季節の変わり目。

**炎暑会議バケツの下のだんご虫** 久芽（5 票）

<< 庭の隅に置いてあるバケツの下に数匹のだんご虫が……。  
熱中症対策会議でもしているのでしょうか。>>

- \* ユーモアのある句でクスリとさせられました。  
虫だって困ってしまうような凄い暑さでしたね。
- \* 懐かしいだんご虫たちが 熱中症対策会議ですか、いいですね。
- \* 炎暑会議の比喩が面白い。
- \* 字余りながら「炎暑会議」の発想が面白い。写楽ならではの言葉遊びが楽しい句。



撮影：北切雀

**夕映えに赤色添えし秋茜** 準坊（5 票）

<< 赤トンボは夕焼けが良く似合いますね。>>

- \* だれでも大好き日本の秋風景代表!!
- \* 赤色が三つ重なり、夕焼けを印象的に表している。
- \* 昔、夕焼け空にトンボを追いかけた頃が、懐かしく思い浮かぶ句です。
- \* きれいな句ですね。

**峰近し（順不同）****春蟬の湧きいずるごと追うがごと** 昼寝覚（票）

<< 初夏に高原をドライブしていると、春蟬の音が  
どこまでも聞こえ、まるで車を追ってくるようでした。>>

- \* 春蟬は珍しい鳴き声も聞いてみたいですね。
- \* この句は、説明文を読んでその状況の描写がうまいなあと思いました。説明がなかったらちょっと理解できなかつたかも。春蟬というのも初めて知りました。
- \* 「湧きいずるごと」はいつも感じていました。
- \* 春蟬でちょっと名の知れた埼玉中部に、住んでいたのを思い出しました。

**甘いモモ罌にかかった夏のむし** 梵木

- \* 独特のユーモアがいい。
- \* あま〜い桃の誘惑にはかないませんね。
- \* 甘い果実は虫も大好きだが飛んで火に入るなんとかで…。比喩的な句ですね。

**虫の声掛け湯飛沫に静まりて** 池福楼

- \* 夜の露天風呂に入られた様子、気持ちよさそう。
- \* 掛け湯の飛沫で一瞬虫が鳴き止むという句ですが、これは露天風呂なのかなあとか、夏の終わりなのかなあとか、風情があるなあと思いました。
- \* 虫の声、掛け湯の音が聞こえてきます。
- \* イギリス住いの身には羨ましい限りの贅沢、それを秋の爽やかですっきりと切り取っている。



**短歌**

越後路で  
求めし種の花ひらき  
暑さやわらく  
朝顔涼し

準坊



<< 越後を旅した時に無人の売店で  
買い求めた朝顔の種。珍しい模様の  
花が咲きました。>>

\* 種まきから手を掛けて花を咲かせた、朝顔の美しさを見るのは喜びもひとしおでしょうね。

大蜻蛉どこから来しか まなこ  
生まれたる池の青さか複眼にあるは 北切雀

<< 体長7cmものトンボを見つけました。イギリスでは蜻蛉は  
珍しく、しかもこんな大きな個体を見るのは初めてで、本当に  
驚きました。>>

- \* 都会ではとんぼが日常から消えて久しい。この歌にとんぼも  
作者も望郷の念を思っているのでしょうか。
- \* 大蜻蛉の茶色と水色の組み合わせが、なんだかイギリスっぽくて  
印象的でステキ！！元気でいてほしかった、残念。

**川柳**

被災者に総理の握手何か変 準坊

<< 避難所を訪問し握手を求める総理、選挙活動の様。>>

\* 握手をされた被災者が露骨に迷惑がっていましたね。

武器よりも災害対策国守る 準坊

<< 高額な武器購入での国防より、災害対策強化の方が国を守れる！>>

\* 5000億円とも言われる迎撃システム。この金で危険な学校のブロック塀はすべて直せる。

結局は蜥蜴の尻尾ばかりなり 準坊

<< 蜥蜴の尻尾切りで終わりかい！>>

\* 自ら命を絶った財務省の地方職員が悲しい。

- \* 作者さん、読者さん、いつもご協力ありがとうございます。多々ある不備、不手際のお見逃しも感謝です。
- \* 平成30年10月の兼題は読者ESさんから「丸い物」、11月は昼寝覚さんから「川、水の流れ」と出ています。
- \* 平成30年9号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた二作品の番号を投票して下さい。
- \* 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら、「写真いいね！」として投票下さい。
- \* 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- \* 神無月10月への投稿、長月9月号作品への投票の締め切りはともに平成30年10月20日です。
- \* 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

写楽句会033(連絡先: kinuko\_thompson@hotmail.com)

© 2018 Sharakukai

筆責: 北切雀

校正: 準坊、池福楼